

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人さくら福祉会
幼保連携型認定こども園
水喰保育園

主な活動報告

日々の保育に重点的に取り組んだ。保護者との連絡・連携を大切にし、子どもの健全な成長・発達のための様々な支援業務に職員一丸となり取り組んだ。

運動会・夏祭り・お遊戯会の節目の行事にも積極的に取り組んだ。行事は子どもたちの成長にとって欠かすことのできない重要な出来事であるが、取り組み方によっては子どもたちや職員、また父母の負担になる面もある。出来栄えに重点を置きすぎると過度の練習は子どもたちの健全な発達を損ねる場合もある。また職員の子どもと直接対応する時間以外の長時間化は職員の負担になりかねない。保護者にとっても同様である。そのバランスをどのようにとるかに重点を置き、職員間で話し合いを進めてきた。

1. 基本方針

保育理念「子どもの幸福と子どもと関わるすべての人の幸福」を願いながら、保育方針「子どもを信じる、子どもの力を信じる、子どもの自ら学ぶ力を信じる」を旗印に、児童・保護者・職員・地域が相互的かつ協同的に関わり合い、子どもが主人公となるような生活の場・学びの場を提供できるような環境づくりを目指す。

〈1〉 保育内容の充実・質の向上

教育・保育課程や全体の計画を基本とし園目標の5領域についての子どもの学びや職員の学びを深めていきたいと考える。

全体の計画→保育教育課程→年間計画→月間計画→週間・日案計画のサイクルで子どもの育ちの見通しを立て、保育実践、評価・反省、次の見通しの工夫を実践した。

〈2〉 保護者支援

保護者との信頼関係をつくり、よりよい子育て・子育ての実現を目指す。

連絡帳を中心として、その日の出来事、気になること、行事等の相互の連絡に努めた。できるだけ保護者が前向きに子どもと接することができるような書き方に努めた。

園内で感染症が発生したときはメールでの配信に努めた。

〈3〉 地域の子育て支援事業

町の健診に職員を派遣し、子どもの育ちや親の関わり方についての課題等を町職員等と共有する。

年に2回町が実施する子育て支援業務に派遣した。子育てに携わる保護者の苦勞や悩み等に対応し、子どもの発達に係る現状の把握等に努めた。

〈4〉 保育者育成

乳幼児の発達の道筋や連続性をとらえ、子ども一人一人のあそびを協同的に展開しながら、育ちの本質をくみ取ることができる保育者としての専門性を追求していく。

日々の保育について適宜話し合いがもたれた。季節の行事や三大大行事を通じて子どもの成長について保育者としての関りに最大限努めた。

児童票の作成を通じて発達の道筋等を客観的にとらえることに努めた。

〈5〉 子どもの育ちを考える保育

教育・保育内容は今の時代を生きる子どもたちの社会背景や環境を見据えて、人を育てるという根本的な考え方を常に学び、実践できる保育者を育てる。

園内研修として、毎月開催される職員会議において入所児童の課題等について話し合いをもった。家庭環境や保育状況の関連性について現場目線での専門性の追求に努めた。

〈6〉 環境整備

旧園舎敷地（第2園庭）の環境整備

保育に関する遊具や用具の整備に努めた。

第2園庭に空中ケーブルを設置した。

2. 入所児童

月別受け入れ児童数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
0歳児	3	3	3	3	4	6	6	6	6	5	5	6	56
1歳児	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	70
2歳児	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	72
3歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108
4歳児	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	84
5歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
計	35	35	36	36	37	39	39	39	39	38	38	39	229

3. 開園時間

午前7時～午後7時

4. 職員配置

職 種	員 数	常 勤	非常勤	備 考
園長	1	1		
副園長				
主幹保育教諭	1	1		
保育教諭	7	6	1	非常勤は0.8人
栄養教諭				
調理員	3	1	2	非常勤：保育補助
事務職員	1	1	1	
バス技能員	1		1	

5. 運営方針

(1) 運営管理を円滑に行うために以下の会議を勤務時間内に開催します

会議名	頻度	主な内容
職員会議	月2回	児童処遇改善検討（個別ケース検討）、

		保育内容の充実を図る検討、園として取り組むべき課題、給食運営（乳児の離乳食進行検討、児童の喫食状況の確認）、
--	--	--

各種課題や問題等について話し合いがもたれた。

〈2〉 各種担当を設置し、職員全員が運営します

係名	職務内容・役割
交通安全	児童の交通安全教育に係る業務
避難訓練	児童の防災訓練にかかる業務
お誕生会	児童のお誕生会に係る業務
検食・会議録	給食の検食及び職員会議に係る業務
保育教材	保育教材の発注・管理に係る業務
保健衛生	児童保健衛生に係る消耗品および備品の管理、感染症に係る業務
視聴覚教材	お遊戯用 CD 等の発注・管理業務
遊具安全点検	遊具の安全点検に係る業務
厚生係	職員厚生に係る業務

各種係がそれぞれの業務を責任をもって遂行した。

〈3〉 年間行事計画

別紙参照

〈4〉 給食・食育運営方針

- ・友達や身近な大人と親しみをもって、楽しく食べる
- ・日常の生活に密着した食育を深く考察し、実践する
- ・郷土の食材・調理方法に親しむ

日々の給食やおやつ、毎月のお誕生会食や行事食の充実に努めた。

〈5〉 保健計画

園児健康診断・歯科検診	年2回
保健便り	随時

保育者健診	9月
保育者検便	毎月
園児への保健指導・取組	手洗いうがいの指導
流行が予想される感染症	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6～9月：手足口病、ヘルパンギーナ、とびひ ・ 11～3月：インフルエンザ、ウイルス性胃腸炎、RSウイルス、ノロウイルス ・ 通年：溶連菌感染症

毎日の手洗い・うがいの励行に努めた。また感染症発生時は保護者にメールにて逐一連絡した。東北町内や近隣の感染症発生状況の発生状況の把握に努めた。

園内感染症発生状況（その他）

	月日	症状	クラス別・発生児童数
1	4月7日	ロタウイルス	日組・1名
2	4月19日	目の充血について	
3	6月20日	水ぼうそう	星・1名
4	6月20日	胃腸炎	星・1名
5	7月28日	水ぼうそう	日・1名
6	9月28日	ヘルパンギーナ	日・1名
7	10月2日	ヘルパンギーナ	星・1名
8	10月11日	ヘルパンギーナ	星・1名、月・1名
9	11月19日	溶連菌感染症	星・1名
10	11月20日	溶連菌感染症	日・1名
11	12月7日	アデノウイルス	星・1名
12	12月25日	インフルエンザ（A型）	日・1名
13	12月26日	インフルエンザ（A型） 溶連菌感染症	日・1名 日・1名
14	1月7日	インフルエンザ（A型）	日・1名
その他			
	9月26日	注意喚起（熊出没について）	
	9月30日	明日の開園予定について	

6. 危機管理

〈1〉 防災について

避難訓練計画、上級救急救命資格取得、自衛消防組織、

町の地域防災訓練に参加した。

〈2〉 けが事故防止について

事故防止策、安全点検等の実施

〈3〉 防犯について

不審者対策訓練の実施、不審者情報等の収集・周知

〈4〉 その他

毎月の避難訓練の実施、安全点検の実施、不審者対策について実施した。

7. 実習生・中高生の受け入れ

保育者育成と研修計画

今年度は七戸高校より職場体験学習として、1名受け入れた。また明けの星短期大学より1名保育実習生を受け入れた。

8. 地域交流計画

地域に根差した保育の中で、積極的に地域に出かける
世代間交流、異年齢交流等

福田商店に七夕の飾りつけを行った。ハロウィーン時には小泉商店さんにお菓子を頂いた。今年は悪天候のためお楽しみ保育時のホテルの観賞会は実施できなかった。

9. 小学校・中学校との連携計画

小学校、中学校の行事に参加し、交流を深める

東北町保小中連絡協議会をつうじて小学校や中学校との情報交換や交流を行った。また水喰小学校とは年間を通じての行事の交流や職員同士の研修会を行った。